

I. 事業活動の総括（平成15.4～平成16.3）

1. 激変する国際経済下における日本経済の現状

日本経済は、長い冬眠状態から覚め、平成15年度に入り急速に回復の兆しが見えてきました。上半期に決算を迎えた企業は、金融業界を除き経常利益は前期比70%増と大幅に回復しています。そして、下期に入り海外投資を含めて設備投資が活発化し、また産業機械、工作機械、高付加価値材料や部品など、輸出産業も活発化しています。国内総生産（GDP）の60%を占める個人消費も、デジタル家電を中心に動き出しました。

そして、日経平均株価は、アメリカの株価に連動するように3月末には、11,000円～12,000円台を回復して16年度に繋がりました。

昨年（平成15年度）の第3四半期には、実質国内総生産（GDP）は、前期比1.7%増、年率換算で7%増となりようやく本格的な回復期に入っています。

日本経済は、強いポテンシャルを持ちながら、経済運営のちぐはぐから低迷し、長い間過剰負債をかかえる中で金融に支配されてきた大企業の多くが、人材のリストラに継ぐリストラで、体力を落としてきましたが、幸い米国、中国をはじめ海外市場の好調に支えられ、景気は持ち直してきています。

この間、グローバルな競争下において、革命的とも言えるコスト・ダウンの徹底と経費節減がすすめられました。これに耐えられる企業は、ものづくりの現場を中国など海外に移転させ、息を繋ぎました。本年を振り返ったときわが国は、デフレ経済の克服など課題を残し、経済構造改革は緒についたところで、これからが本番となります。

このような状況下で、中産連は、会員企業や広く産業界の解決すべき課題やニーズを適確に捉え、企業再生、構造改革、新しいマネジメント・システムの取り組み、現場改善、人材育成、そして企業の国際化対応などを強力に支援する普及活動をおこないました。

本年度は中産連事務局も、国際標準化事業の一巡、日本経営管理標準（JMS）など新しいマネジメント普及活動の見直しなど、翻って見るとおどり場的時期となりました。

2. 本年度の事業実績の要約

本年、当連盟は創立55周年を迎え、昨年9月12日名古屋市内で、会員企業をはじめ産業界、官界学界など、700名余の方々をお招きして“感謝の集い”をにぎにぎしく挙行いたしました。

そして、本年度の事業活動は、広く産業界ならびに会員企業のニーズを的確に捉え、内外情報の提供、コンサルティング活動による企業の体質改善、合理化、能率向上、国際標準（ISO9000/14000など）の普及と人材育成、日本経営管理標準（JMS）など新しいマネジメント・システムの取り組み、人材育成のための研修会、研究会、講演会など、強力な支援普及活動の展開により、事業計画の遂行に務めました。

当連盟は、本年度(平成15年4月～平成16年3月)において次の諸事業、プロジェクトの普及活動を実施しました。

1. 国内コンサルティング事業活動

(1) 国内経営コンサルティングの活動実績

- ・本部（名古屋）297社、東京本部119社、長野コンサルティングセン

ター11社に対してコンサルテーション、研修を実施のコンサルテーション、企業内研修を実施しました。

受注先	本部	東京	長野	総計(社)
一般会員企業ならびに非会員企業	297	119	11	427
専門機関、公共機関からの要請 (診断・コンサルテーション・調査)	45			

(研究第一部)

(1) コンサルティング実施テーマ

- 中長期経営策定支援
- 経営管理後継者育成コンサルティング
- 人材開発プログラムの推進コンサルティング ほか

(2) 研修実施テーマ

- 人事評価者研修
- 経営管理後継者育成研修
- キャリアプラン作成セミナー ほか

(研究第二部)

(1) コア人材の発掘と育成のための体系的研修プログラム

(企業内研修、若手経営後継者育成、海外研修)

- 戦略事業計画立案
事業戦略、プロダクト・ポートフォリオ、マーケティング・部門
戦略と財務計画立案
- 新ビジネスモデルの研究
顧客リレーションシップ、e-コマース、SCM、企業同盟などのケー
ススタディー

- 新規事業創業シュミレーション

起業家精神、トップマネジメントの役割認識、部門間調整、業績評価

- マネジメント能力の育成

戦略シナリオ立案、対人影響力、部門間調整能力、エンパワーマネジメント

(2) 戦略市場計画プログラム

(マーケティング戦略策定と提案型営業展開のコンサルティング)

- 戦略的マーケティング

顧客満足度調査、売り買い現場の総点検

- 戦略市場計画

プロダクト・ポートフォリオ標的市場における流通チャンネルと価格戦略

- 営業部門の革新

購買プロセス分析、営業様式の選択、顧客攻略プロセスの革新

(3) 提案型営業力開発プログラム

(営業力診断と1泊2日×2回の企業内訓練)

- 営業力診断

アプローチ、情報収集計画、提案、反論克服、クロージング、営業力アセスメント

- 顧客攻略プロセスのシナリオ作成

- プレゼンテーション能力、競合への対処、価格交渉力、クロージング

(研究第三部)

(1) 「順序化・流れ化・見える化」による業務革新

- ・今期は、個別受注生産型の製造業、多種・少量生産型の情報機器製造業、機械部品製造業、家具製造業などで実践されている、生産現場・物流現場の業務改善プロジェクトを支援

(2) 「市場競争力強化」診断・実践プログラム

- ・今期は大阪府、富山県など地域機関・団体の主催する公開研修コースと、個別企業での企業内研修を通じて、産業界への普及を推進

(コンサルティング推進部)

(1) 第1コンサルティングセンター

- ・新人事制度導入～適正評価と効果的賃金制度の構築～
- ・目標管理の精度向上と定着化指導
- ・人材開発の総合的支援コンサルティング ほか

(2) 第2コンサルティングセンター

- ・「儲かる工場作り」～生産体質改革プログラムの推進～
- ・儲けるためのマネジメントシステム整備・強化コンサルティング
- ・「速・効・活・創」業務改善 ほか

2. 研究開発事業活動

(1) 職員の発表論文と受賞状況

1) 第55回全国能率大会

第I部（於：東京都、平成15年7月9日開催）

- ①全能連賞（第54回大会発表論文）研究開発・生産に関するもの
「中小製造業におけるD.B.R（ドラム・バッファー・ロープ）」

の実践」 主任コンサルタント 松田 英一

②入選 (第55回大会発表論文)

a. 経営戦略・組織改革に関するもの

「全社システムに貢献するS Q M (Self-assesment Quality Management System Method)」

コンサルタント 畑澤 馨

b. 業務改善に関するもの

「情報システム部門の効活創 (効率化・活性化・創造化)」

コンサルタント 吉田 薫

2) 経営診断学会

入選 (論文集「経営診断の社会性を考える」(平成15年10月)に掲載)

「企業における『見えざる資源』の活用」

主任コンサルタント 山崎 康夫

3) 社団法人 日本品質管理学会第71回研究発表会(平成15年5月)

「リスクマネジメントの自己評価」

主席コンサルタント 長谷 勝

4) 社団法人 日本品質管理学会第33回年次会(平成15年11月)

「リスクマネジメントにおける新たなリスク評価方法」

主席コンサルタント 長谷 勝

(2) 平成15年度 全能連顕彰者

顕彰牌 主任コンサルタント 村山 明

(3) 第16回マネジメント大会開催

- ・テーマ:競争力の向上への新たな挑戦

- ・参加人数：472名（第1部会 316名 第2部会 156名）
- ・会場：ヒルトン名古屋
- ・開催日：平成15年11月13日(休)

(4) 第10回東京マネジメント大会開催

- ・テーマ：革新的マネジメント手法と推進事例
- ・参加人数：178名（総合部会 83名 生産・ISO部会 95名）
- ・会場：アルカディア市ヶ谷
- ・開催日：平成15年10月27日(月)

3. 「日本経営管理標準（JMS）」推進事業活動

（JMS事業推進センター）

(1) 公開研修

1) プロジェクトマネジメント

P2M普及講演会

「“今”注目されているPM（プロジェクトマネジメント）

P2M（プロジェクト&プログラムマネジメント）の展開」

- ・参加者 94社137名
- ・開催日 平成15年6月3日
- ・開催場所 名古屋国際会議場
- ・講演者 経済産業省 製造産業局
国際プラント推進室 後藤 芳一氏 ほか

2) Iip (Investors in People)

セミナー「人材力再発見セミナー」

- ・開催日 2月4日、3月3日、10月29日

- ・開催場所 中産連研修室

3) 中産連55周年 特別企画 講演会とパネルディスカッション

「21世紀の企業競争を勝ち抜くには」

(当地区を代表する著名経営者を招き講演会を開催)

- ・参加者 64社98名
- ・開催日 平成15年10月23日(木)
- ・開催場所 産業技術記念館
- ・講演とシンポジウム

パネルディスカッションパネラー

(株)豊田自動織機 取締役名誉会長 豊田 芳年氏

(株)デンソー 元副会長 田辺 守氏

イビデン(株) 相談役 多賀 潤一郎氏

コーディネーター 竹内 弘之

(中産連専務理事)

(2) JMS社内研修及びコンサルテーション (JMS普及活動)

- ・A社の国内30生産拠点を含む生産革新と経営革新
タイ、インドネシア、中国、ヨーロッパにおける生産革新
- ・B社の生産管理(量/納期管理)をテーマに社内診断力養成研修
- ・C社の開発・生産技術をテーマにしたJMS診断実施と改善テーマ立案 ほか

(JMS管理室)(JMS企画開発センター)

(1) 「日本経営管理標準JMS推進機構」活動

日本経営管理標準JMS推進機構(理事長渡辺捷昭:トヨタ自動車(株)取締役副社長)は、JMSの普及と発展を図るため、平成14年

3月に設立された当連盟の付設機関

- 平成15年度は6回企画委員会を開催、今後のJMSの普及と発展の方向付け等を検討し取りまとめて理事会に上申
- 平成16年3月9日の理事会では平成16年度活動計画を審議し決定
- 会員専用のホームページ開設、JMSアドバイスシートの閲覧を開始

(2) 公開セミナー

1) 本年度はJMSの活用事例の紹介を中心にしたセミナーを「モノづくり企業最強経営フォーラム」(自動車部品生産システム展併催)にて開催

- 参加者 75名
- 開催日 平成15年6月19日
- 開催場所 東京ビッグサイト

2) JMSの新しい活用法を開発し、この提案を目的とした紹介セミナーを名古屋、東京、大阪で開催し、72名が参加

(3) 企業内研修

JMS診断により改善を促すスタッフ部門養成セミナーを開催
ほか

(4) 解説書・チェックシートの頒布

日本経営管理標準JMSを広く普及するため、JMS社内診断セミナーで使用している教材を再編集し発刊・頒布

(5) 広報活動

日刊工業新聞社「工場管理9月号」にJMS特集を執筆

4. 国際協力事業活動

中産連は、発展途上国からの研究員を日本に受け入れて実施する教育訓練について、コースの企画から実施全般を全面的に受託

コース名	主催	参加対象国	参加者	期 間	日数
全社的品質・生産性向上研修コース	JICA	メキシコ	12	平成15年5月8日～11月14日	7ヶ月
中小企業経営研修コース	JICA	南アフリカ	7	平成15年6月9日～7月25日	2ヶ月
生産管理研修コース (SAPS)	AOTS	南アフリカ	22	平成15年10月6日～10月17日	2週間
工業分野における経営 コンサルティング	JICA	ベネズエラ	5	平成15年11月4日～12月12日	1ヶ月
生産システム改善技術 研修コース	JICA	ルーマニア	8	平成16年1月13日～3月12日	2ヶ月
ベトナム改善活動実践 研修コース (VIA)	AOTS	ベトナム	24	平成16年3月3日～3月16日	2週間
全産業界のレベルアップ	JICA	チュニジア	11	平成16年3月8日～3月19日	2週間

(注) 国際協力事業に関係する日本政府行政機関・国際機関等

JICA : 独立行政法人 国際協力機構

AOTS : 財団法人 海外技術者研修協会

5. 首都圏におけるコンサルティング・研修事業活動

(東京本部)

(1) 事業活動

1) コンサルティング事業

VM (目で見える経営) 活動の推進による企業体質の改革、フレキシブル生産システム (FMS) の確立による生産革新、生産現場改善によるコストダウン、5 S 活動の推進、在庫削減とリードタイム短縮の推進、管理会計制度の導入、業績評価制度の導入、管理・間接業務の効率化、間接部門のVM推進、目標管理制度の導入、人事制度の革新と組織の活性化推進、賃金制度・退職金制度の改革、マ-

ケティング戦略の構築と展開、ISO9000と14001認証取得のための品質保証体制確立など、122社に対してコンサルテーションを実施

2) マネジメント研修事業

MSC会（経営戦略同好会）は、19社の参加により異業種交流と経営研修活動を実施

11月4日	第一部：「経営革新で世界企業に発展」 （株）アドバネクス 名誉会長 加藤 清氏 第二部：会員と訪日団（中国）メンバーとの経営交流会
12月4日	「ものづくり21世紀を生き抜く～ものづくりの原点回帰～」 豊田工機株式会社 代表取締役会長兼社長 大西 匡氏

ほか

3) 公開セミナー事業

公開セミナー・研究会・工場見学会を65件実施

①生産・在庫・5S関係

- ・5Sを核とした現場改革の進め方(3)
- ・開発・設計の付加価値向上セミナー(3)
- ・VM活動による管理・間接部門の業務改善・収益改善・業績向上の実現化セミナー ほか

②ISO関係

- ・ISO9001：2000年版規格の理解セミナー ほか

③人事関係

- ・活き活きとした組織づくりを行う人事制度改革(2)
- ・期待役割と成果責任に基づく賃金改革の進め方(2) ほか

6. 長野信越圏におけるコンサルティング・研修事業活動

(長野コンサルティングセンター)

(1) 事業活動

1) コンサルテーション

品質改善プロジェクトほか 総数 10社

2) 公開セミナー

・品質不良ゼロのものづくり 3回 87名

・トヨタ方式実践 1回 28名

・ISOとA-KOMIKの融合 1回 18名

(2) コンサルティング商品開発

1) 人為ミス未然防止法A-KOMIK (平成15年7月出版)

2) 個別生産品の攻略法P×P方式 (ダブルプロフェッショナル)

3) 職場のコミュニケーションツールPASPAS (平成16年4月出版
予定)

7. 国際標準規格ISO関係事業活動

(ISO事業推進部)

ISO9000/14000、TS16949、OHSAS18001 (国際規格標準)

関係活動事業

事業活動の総括

ISO9000/14000など認証取得支援のためのコンサルティング機関ならびに教育機関として、連盟所属コンサルタントのうち、約80名が主任審査員、審査員ならびに審査員補 (JRCA、CEAR、JIPDEC認定) の資格を有し、わが国屈指の機関

これにより271件のコンサルティング、受審査前診断指導、内部
監査員養成講座などの支援活動を実施

また、公開研修コースは全国各地（東京地区は除く）で開催し、
実施回数が301回、参加者数は3,911名

8. マネジメント営業推進事業活動

（マネジメント営業推進センター）

(1) コンサルテーション

現場改善、人事制度、VM、在庫削減、JMS、ISO9000、ITに
よるCADシステム、ISO14001、OHSAS18001、ISMS、Pマークな
ど115件受注

(2) 企業内訓練

営業マン教育、管理者研修、コストダウン研修、新入社員研修、
ISO研修、CAP、人事制度、海外でリーダーシップ発揮法など34件
受注

(3) 公開セミナーの開催（実施回数：12回、参加者数：201名）

9. マネジメント開発事業活動

(1) 公開研修

1) 「経営後継者養成アカデミー（JEA）」（研修修了生230名）

第37期 JEA 研修生 2 名（1 年間220日）

2) ノートルダム大学共同企画「エグゼクティブ短期特別プログラム」

参加者 6 社 7 名、米国インディアナ州ノートルダム大学にて、異文化理解（米国社会・文化・ビジネス分野）に焦点をあて、3 週間（平成15年 6 月 6 日～6 月26日）に渡る短期留学研修を実施

3) 講演会「モノづくり企業の舵取り戦略」

日本のモノづくり企業のあり方を考える

・参加者 47社50名

・開催日 平成15年 6 月 5 日(木)

・講師 トヨタ自動車(株) 常務取締役 近藤 詔治氏 ほか

(2) 受託事業

「環境パートナーシップ・CLUB（略称：EPOC）」

環境パートナーシップ・CLUBは、産業界の環境オピニオンリーダーが中心となって、下記活動を中心に循環型経済社会の構築を目指すべく活動（設立：平成12年 2 月17日）

会 長：安井 義博（ブラザー工業(株)会長）

会員数：303社

<主な活動>

- ・環境行動の社会への浸透活動
- ・環境マインドに溢れた社会風土づくり活動
- ・環境行動に関する情報発信活動

・環境活動に関する国際交流活動

10. 「トヨタ生産方式研究会」事業活動

・特別講演「トヨタ生産方式の本質と進化」

講演者 トヨタ自動車㈱ 技監 林 南八氏

内容・講師	期間・参加者数
PART I (改善の進め方) 講師 トヨタ自動車㈱ほか 6名	春：平成15年5月13日～15日 参加者301名
	秋：平成15年9月16日～18日 参加者300名
PART II (作業改善の実習) 講師 トヨタ自動車㈱ほか 4社	春：平成15年6月15日～20日 参加者 64名
	秋：平成15年10月12日～17日 参加者 64名

11. 会員事業活動

(会員事業推進部)

(1) マネジメント研修センター

- ・マネジメント研修センターでは、創造性豊かな人材の育成をねらいに、中産連“創造の船”(19回)を実施
- ・会員企業を中心に産業界全体に対し、時代の要請に応え得る人材を育成する公開研修事業や技術革新、グローバル化に対応した長期研究会、海外視察団の編成
- ・様々な課題や要望に合わせた企業内研修を実施

1) 事業活動

分野	プロジェクト数	社数	参加者
公開研修	238	2,948	4,014
研究会 フォーラム 海外研修 海外受託研修	10	397	620
海外洋上研修 (創造の船)	1	110	165
企業内研修 コンサルテーション	179	179	
受託事業	2		
合計	430	3,634社	4,799名

2) 受託事業

①日本バリュー・エンジニアリング協会中部支部

業務委託、VE研修、建設VE研修会、原価とVE研究会の実施

②日本設備管理学会東海支部

総会・シンポジウムの実施

(2) 会員サービスセンター

1) プロGRESS (中産連機関誌・月間マネジメント専門誌) の発行

[毎月2600部]

2) 会員懇話会 (無料講演会) [毎月1回開催・参加者毎回150

名]

3) 中産連人材育成フォーラム

創造性豊かな人材育成をめざし、これからの人材育成を提案し、

平成16年度講演計画を説明

木村 政雄氏（フリープロデューサー）

「不透明な時代をぶち破る木村流オンリーワンのすすめ」

- 参加者 170名
- 開催日 平成15年12月3日

4) マネジメント小冊子（無料）の発行

- 創立55周年記念「人が時代を語り、時代が人を語る」
- 創立55周年記念特別対談

「中部発・リーディング・カンパニーのトップが語る変革のマネジメント」

- 「潮流 IX（第九号）」
- 「平成15年度中産連会員懇話会抄録集」

5) 2003年版中産連会員名簿発行

(3) 事務局受託

- 日本設備管理学会東海支部
- (社)日本バリューエンジニアリング協会 中部支部
- 日本経営近代化協会（SAM）名古屋支部
- 日本広報学会 中部部会

12. 理事会・総会

(1) 会 勢

平成16年3月末日現在の会員数は832社（入会24社、退会50社）

(2) 会 議

1) 総会

平成15年度通常総会

と き 平成15年6月13日(金) 14時～15時05分

と ころ 名古屋国際ホテル（2階 老松の間）

出席会員 598会員

議 件 i 議決事項

(1)平成14年度事業報告および収支決算書類承認の件

(2)平成15年度事業計画および収支予算審議決定の件

(3)平成15年度理事選任（交替）の件

(4)平成15年度評議員選任（交替）の件

ii 報告事項

2) 理事会

第240回理事会

と き 平成15年5月16日(金) 13時～13時50分

と ころ ウェスティンナゴヤキャッスル（3階 松の間）

出席者 理事49名、監事1名

（中部経済産業局より産業企画課長臨席）

議 件 i 議決事項

(1)平成15年度通常総会開催日時および場所決定の件

(2)上記総会に提出すべき下記議件審議の件

- 1) 平成14年度事業報告および収支決算案に関する件
 - 2) 平成15年度理事選任（交替）に関する件
 - 3) 平成15年度評議員選任（交替）に関する件
- (3)平成14年度下半期新規入会会員の承認を求める件
- (4)支社・工場などの事業所単位による会費基準（内規）の件

ii 報告事項

第241回理事会

と き 平成15年11月10日(月) 12時～12時45分

と ころ 名古屋マリオットアソシアホテル（16階 サルビアの間）

出席者 理事49名、監事1名

（中部経済産業局より産業企画課長補佐臨席）

議 件 i 承認事項

(1)平成15年度上半期新規入会会員の承認を求める件

ii 報告事項

(1)平成15年度上半期実施事業ならびに収支概況報告の件

(2)その他

第242回理事会

と き 平成16年3月18日(木) 13時～13時50分

と ころ 名古屋観光ホテル（18階 伊吹の間）

出席者 理事49名、監事1名

（中部経済産業局より産業企画課長補佐臨席）

議 件 i 議決事項

(1)平成16年度事業計画および収支予算案に関する件

(3) 職員の状況

平成16年3月末日現在の正職員男子83名、女子30名総計113名